

## 2月26日：VN 指数は反発 (VN-Index +1.00%)

- VN 指数は先週末の強い下落の後、再び上昇して今週の取引を開始させた。
- BID (+3.08%) をはじめ、食品・飲料や化学セクターが相場上昇のけん引役となった。
- ただ、特に大型株を中心とした慎重姿勢は依然として残っており、一時的に相場の勢いをそぐ場面も見られた。
- 後場には、すでに上昇していた銘柄に買いが入る一方で、下落銘柄は下げ幅を小幅にとどめ、騰落の方向性に違いが見られた。
- 金融セクターはさらに勢いを強め、相場全体の上昇幅を拡大させた。
- 270 銘柄が上昇、214 銘柄が下落、73 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 34.7%減の 20.9 兆ドンと、低調となった。

### VN30 指数は買い方が優勢 (VN-30 +0.84%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、19 銘柄が上昇し、8 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずとなった。
- BID (+3.08%)、FPT (+3.95%)、GVR (+4.54%)、TCB (+2.74%)といった銘柄が指数の上昇に貢献した。
- VIC (-1.33%)と VPB (-1.28%)などが、大きく下落した。

### セクター・個別株の動き

- VASEP が発表した 1 月の水産物全体の輸出が大幅に増加したことを受け、水産物銘柄の ANV (+6.92%)、VHC (+6.97%)、IDI (+6.75%)が天井をつけた。
- また、GMD (+6.16%)も 2024 年 1-2 月のベトナム港の貨物量が前年同期比 8%増となったことから急騰した。

- 外国人投資家の売り越しと買い越しは拮抗し、本日は 340 億ドルの買い越しとなった。DGC(+7.00%)と HCM(+6.99%)が大きく買い越された銘柄となった。一方、STB (-0.49%)は売り越しリストのトップとなった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。